

「目白」の地名にもなったお不動様
③「目白不動尊(金乗院)」



江戸五色不動のひとつ目白不動尊は、以前文京区関口にあったが戦後の寺の焼失により戦後この寺に移転され安置された。

今回の探検コースは
約5km

目白台にある
築約90年の
木造の酒屋さん



日本女子大学のシンボル
④「成瀬記念講堂」

1906年建設。当時は煉瓦造の2階建てだったが関東大震災で被害を受け木造建築として再建、数少ない明治期の学校建築として文京区の有形文化財にも指定されている。

とあらん オススメスポット
⑤ 文京区一の面積を誇る区立公園「目白台運動公園」

2009年にオープン。目白周辺の自然を生かし運動機能と防災機能を備えた都市公園。地域の憩いの場所になっている。



江戸時代にタイムスリップした景観
⑥「新江戸川公園」

細川家下屋敷の庭園の跡地をそのまま公園にした回遊式水庭園。春は桜や新緑、秋は紅葉など四季折々の景観が楽しめる。



あまりにも急なので途中には休憩所が...
⑦「胸突坂」



神田川から目白台に上る険しい坂、自分の胸を突くようにしなければ上れないことから江戸時代に命名された。

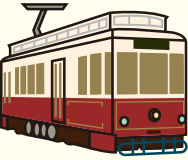
⑧「関口芭蕉庵」
思わず一句詠みたくなる
江戸時代、松尾芭蕉が神田上水の改修工事に携った際に住居があったと言われ、後に芭蕉を慕う人々により「龍隠庵」が建てられた。その周辺が現在の芭蕉庵になっている。

⑨「講談社 野間記念館」
講談社創業者 野間清治氏が収集した美術品などが展示
横山大観ら近代日本画の「野間コレクション」や、「講談社の絵本」原画などの出版文化資料、画家・村上豊の作品などを展示。休憩室からは四季折々の草花も望める。

風情のある
面影橋の名前は
悲しい伝説から



2012年
「神田川の桜祭り」
は4月8日に開催!



明治の末まで周辺は
山吹の咲き乱れる野原だった
②「山吹の里の碑」

山吹の里は、現在の豊島区高田1丁目周辺の俗称、江戸城を造った太田道灌にまつわる故事が残っている。

新宿区を代表する産業「東京染小紋」が学べる
①「東京染ものがたり博物館」

富田染工芸の工房の隣は平日の月曜から金曜まで神田川周辺で盛んだった「東京染小紋」の染色技法や歴史、作品を展示。5名以上で事前に予約をすれば染物体験もできる。

神田川の桜は
柵をも曲げる
生命力!!



START

GOAL

静岡県富士市で収穫された新鮮野菜を販売
⑩「照土富士(テラス・ド・フジ) 東京アンテナショップ」

静岡県富士市の農場で、農業・化学肥料を一切使わずに育てた野菜を直売。家族みんなで料理が楽しめる四季折々の「健康的な味」の露地野菜がズラリ並ぶ。

春には遊歩道が満開の桜に染まる
⑫「江戸川公園」

神田川沿いに広がる細長い公園。園内には江戸時代の水路だった神田上水の取水口大洗堰跡がある。春には1983年に園内周辺に植樹された桜が満開になり多くの人たちが訪れる。

約2万坪の庭園で春の絶景を満喫
⑬「椿山荘」

江戸時代の下屋敷だったものを明治の元勳山縣有朋が入手し「椿山荘」と命名。神田川沿いの冠木門から入れ、三重塔や多くの文化財・自然美が残る庭園を自由に散策することができる。ランチ休憩にも◎!

大聖堂の設計は建築家丹下健三氏
⑪「カトリック東京カテドラル関口教会」

特徴的なカーブを描き八面のコンクリートの壁を垂直に近く立てた構造で、天井は大十字架の形の建物の「聖マリア大聖堂」は1964年落成。世界的にも有名な教会建築になっている。

春は桜色に染まる
歴史と文化が漂う街

今回の探検は早稲田をスタートして、新宿区、豊島区、文京区の都内でも有名なお花見名所の神田川沿いを歩くルートコースです。文学、歴史、武蔵野の自然が満喫できる散策が楽しめます。川沿いと高台の標高差がある坂が多いコースですが、ゆっくり春の息吹を感じながらお弁当を持って歩けば様々な感動に巡り会えること間違いなし! いざ、出発進行!

早稲田
目白台
関口